

「家族・婚姻」研究文献選集 戦前篇 全二回 15巻



別巻1／別冊解題付 湯沢雍彦監修

揃定価 169,400円 (154,000円+10%税)

A5判／総7,820頁

現代の家族研究をしていくうえで、過去の家族制度とその移り変わり等を踏まえ、広い視野で「家族」の研究をしていくことが必要であると思われます。明治から昭和20年(終戦)以前に出版された単行本を学際的に精選集成。

品切 第1回(第1巻～第8巻) 揃定価 83,600円 (76,000円+10%税) (分売不可)

ISBN :4-906330-16-9 JLA :89-029893～900 NPL :9060163

第2回(第9巻～第15巻、別巻) 揃定価 85,800円 (78,000円+10%税) (分売不可)

ISBN :4-906330-17-7 JLA :90-006105～12 NPL :9070910

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1: 増補族制進化論(有賀長雄) | 2: 隠居論(穂積陳重) |
| 3: 子供本位の家庭(安部磯雄) | 4: 離婚制度の研究(穂積重遠) |
| 5: 家族制度と婦人問題(河田嗣郎) | 6: 日本家族制度史研究(砂川寛栄) |
| 7: 家族と婚姻(戸田貞三) | 8: 日本家族制度批判(玉城肇) |
| 9: 家族主義の教育(新見吉治) | 10: 日本農村社会学原理(鈴木栄太郎) |
| 11: 我国家族制度の研究(橋浦泰雄) | 12: 結婚と人口(岡崎文規) |
| 13: 白川村の大家族(江馬三枝子) | 14: 日本家族制度と小作制度(有賀喜左衛門) |
| 15: 家と家族制度(戸田貞三) | 別巻: 人事慣例全集(自治館編) |

推薦: 森岡清美「家族論の宝庫」

利谷信義「精選された古典」